



かごしま

2013年(平成25年)

第557号

市民のひろば

10月号

編集と発行 鹿児島市広報課 ☎099-216-1133 FAX099-216-1134 ✉kouhou@city.kagoshima.lg.jp

◇点字版・音声(テープ・CD)版を希望する人は広報課へ ◇配布の問い合わせは南日本リビング新聞社239-8124へ

市役所への問い合わせは

鹿児島市総合案内コールセンター
サンサンコールかごしま



☎099-808-3333

FAX099-808-2525

✉info@33call.jp

年中無休
8時～21時

市ホームページ

鹿児島市

検索

<http://www.city.kagoshima.lg.jp/>

広報紙「かごしま市民のひろば」
グラフ誌「市民フォト鹿児島」を読む

でご覧
いただけます

※上記のページからは電子ブック
でも広報紙をご覧いただけます

携帯サイト「鹿児島シティガイド」
右の二次元コードから
アクセスできます



- 【主な内容】
- 特集 **ごみ出しの疑問をスッキリ解決!** ……⑧・⑨
- 市政総合 ……②・③
 - イベント・講座 ……④～⑦
 - 暮らしのガイド ……⑩・⑪
 - 健康・福祉 ……⑫・⑬
 - すこやか鹿児島っ子 ……⑭・⑮

人口(平成25年9月1日現在・推計)

※()は前月比

人口総数 607,611人 (+50)

世帯数 271,018世帯 (+33)



開園1周年を迎えるグリーンファームでは
いろいろな旬の野菜を収穫できます

実りの秋!グリーンファームで"さといも"掘り

人・まち・みどり

みんなで創る“豊かさ”実感都市・かごしま



「良い刺激になり、農業に一層励むきっかけになった」という声が寄せられるなど、生きがいづくりや地域の活性化にもつながっています。地元の人との出会いやふれあいを通じた交流や体験は、そこに感動が生まれます。今後とも、農家民泊をはじめ、グリーン・ツーリズムに積極的に取り組み、市民の皆さんと一緒に、本市の多彩な魅力を全国へ情報発信してまいりたいと思います。

■ **農家民泊で鹿児島島の魅力を発信!**
農村地域の自然、文化、人々との交流を楽しむ参加体験型の観光グリーン・ツーリズム。その代表的なものに、「農家民泊」があります。この民泊は、修学旅行生が、農家の日常生活を体験するもので、昨年度は延べ2000を超える農家等に、大阪など関西を中心に約680人の中・高校生を受け入れていただきました。初めての農業体験を通じ、自立心の育成や農業への理解が深まるとともに、温かい交流に感激して、「また鹿児島島にきたい」と涙を流す生徒もいるそうです。一方、農家等の皆さんからは、農作業と一緒に汗を流し、地元の農産物などに関心を示す姿に、「生徒たちに元気をもらった」「良い刺激になり、農業に一層励むきっかけになった」という声が寄せられるなど、生きがいづくりや地域の活性化にもつながっています。

■ **家に眠っているものはありませんか?**
今月は「3R推進月間」です。3Rとは、ごみを減らす「リデュース」、物を再利用する「リユース」、ごみを資源として再利用する「リサイクル」の3つの頭文字をとったもので、環境への負荷を少なくし、資源やエネルギーを有効活用しようとするものです。

こうした取り組みについて、学び・考える拠点として平成20年に開設したかごしま環境未来館が、この度、5周年を迎えました。同館は、リユース・リサイクルショップを運営しており、この5年間に延べ14万人もの皆さんにご利用いただいております。持ち込まれた食器や衣料品などの日用品は4万点を超え、新たな活躍の場で役立ち、まさに再利用・再利用されています。利用者からは「捨てられごみになるが、他の人に利用されることはうれしい」など、多くの方々が環境への身近な取り組みを実感しているようです。

家庭に眠っている未使用の不要な日用品はありませんか。ぜひリユース・リサイクルショップを活用してみたいかがでしょうか。

■ **リユース・リサイクルショップのあるかごしま環境未来館**

市民とともに



鹿児島市長
森博幸

(大切なものは保存しておきましょう)